

# 月のことば (680)

ひとの亡くなつた日をご命日といいます。どうして命の日と書くのでしょうか。この世で命を終えた日、又はお浄土に命が生まれた日という意味で使われます。

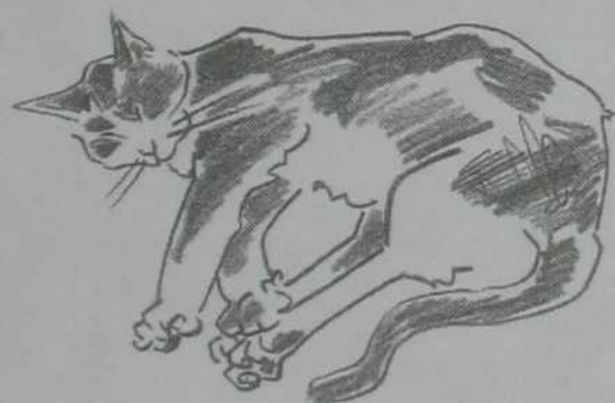
生きているのではなく、生かされている命だということをつい忘れて、愚痴・不平・不満だらけの日ぐらしをしている私がここにあります。

私の命は、不思議なご縁で、仏さまからお預かりしたものです。預かったものですから、いずれお返ししなくてはなりません。

仏さまの教えは、いのちの教えです。あなたはその大切ないのちを、どう生きているのですかと仏さまから問いかけられています。

教えの言葉を聞き、今の命を考える日にしたいものです。

他人を非難するは易く  
自らの不徳は知り難し



秋季彼岸会法要 9月23日(火・祭日) 午後2時

講師: 内藤 知康 師 是非ご家族揃ってお参りください。